

# ピアノ 公開レッスン

日時 令和4年5月31日(火)11時～(3・4時間目)

場所 音楽棟3階 合唱合奏室

講師 渋谷 淑子 先生 (国立音楽大学特任教授)

## プログラム

11:00～ 講師紹介・講師演奏

巡礼の年報第3年 S.163 第4曲「エステ荘の噴水」 リスト 作曲

11:15～ 公開レッスン

大橋 侑奈 (2年)

幻想小曲集 Op.12 より 第2曲「飛翔」 シューマン 作曲

関根 結子 (3年)

平均律クラヴィーア曲集第1巻 第13番 嬰ハ長調 バッハ 作曲

版画より 第3曲「雨の庭」 ドビュッシー 作曲

園部 帆乃香 (3年)

楽興の時 Op.16-4 ホ短調 ラフマニノフ 作曲

## 渋谷 淑子 Yoshiko Shibuya (ピアノ)



国立音楽大学を首席で卒業。武岡鶴代賞受賞。読売新聞社主催新人演奏会に出演。国立音楽大学大学院を首席で修了。クロイツァー記念賞受賞。'84年、第5回クロード・カーン国際ピアノコンクール(パリ)ディプロマ賞受賞。'86年、フランス音楽コンクール第1位入賞。フランス総領事賞、朝日放送賞受賞。'87年、第2回日本現代音楽ピアノコンクール優勝。在学中より演奏活動を行い、ソロの他、著名なオーケストラとも度々協演する。とりわけ現代音楽の分野においては、ソロ・室内楽を始めとする幅広い分野で活躍し、主要な現代音楽演奏会に多数出演して、内外の作

曲家の初演も数多く手掛け高評を得るとともに、NHK-FMにおいても度々放送される。'81年、'82年のリサイタルに続き、'88年〔第2回日本現代音楽ピアノコンクール優勝記念〕及び'92年には全曲現代曲によるリサイタルを行なう。その後、新しいコンセプトのもとにピアノとコンピュータとの融合を求め、「新たな音空間の創造」を追求する《時空・響・流転》シリーズのリサイタルを、'94年《日本とイタリアの波動》、'96年《日本とアメリカの波動》、'98年《日本とイギリスの波動》、'00年《日本とオランダの波動》、'02年《日本とドイツの波動》、'04年《日本とポルトガルの波動》〔いずれも文化庁芸術祭参加〕、'06年に《日本とフランスの波動》をそれぞれ開催し、いずれも注目を浴びる。'98年のリサイタル《時空・響・流転—Ⅲ》〔日本とイギリスの波動〕の成果により、平成10年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。'02年には《時空・響・流転—Ⅴ》〔日本とドイツの波動〕の成果により、再び文化庁より平成14年度芸術祭優秀賞を受賞するなどの業績を上げている。CD録音は、「ドゥ・ラ・ニューイ」渋谷淑子／現代ピアノ音楽コレクション〔ALCD-46〕、「スクリャービン／音と光の神秘」〔SCD-0806〕、「The time flows with a piano and ...」〔SCD-4144〕、「松平頼暁ピアノ作品集／BINARY-STARS」〔ALCD-40〕、「Kinetic Figuration／five works with computers／Takayuki RAI」〔DAC-1210〕、「ジグザグ バッハ／南聡」〔FOCD-2554〕、「花降る森／福士則夫室内楽作品集Ⅱ」〔CMCD-28128〕、「ソリチュード／篠原真作品集」〔FOCD-2567〕等、多数にのぼる。またコート・リッピ氏に委嘱し、世界初演した《ピアノとコンピュータのための「音楽」》は、日本でのCDリリースに続き、アメリカにおいても「Society for Electro-Acoustic Music in the United States」(SEAMUS)からリリースされた。「ドゥ・ラ・ニューイ」渋谷淑子／現代ピアノ音楽コレクション」と「松平頼暁ピアノ作品集／BINARY-STARS」はレコード芸術の推薦盤となり、月刊誌ステレオにおいては「ドゥ・ラ・ニューイ」が10のチェック項目の全てにおいて満点の評価を受け、総合点10点の最高点で年間の優秀録音に選ばれる。長峰和子、藤井一興、平尾はるなの各氏に師事。アンリエット・ピュイグ＝ロジェ、ジェルメーヌ・ムニエ、イヴォンヌ・ロリオ各氏のレッスンを受ける。現在、国立音楽大学及び大学院特任教授。淑樹会主宰。